

夢（ゆめ）

文責 校長 池田 新

－ 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成 －

1 7月13日（土）～15日（祝）に杵島武雄地区中体連が開催されました

軟式野球は白岩球場で武雄北中学校と対戦し1対2で敗退しましたが、野球部全員が一生懸命にプレーしたり応援したりしていました。

バレーボールは、北方中学校で武雄青陵中学校との対戦は0対2、武雄北中学校とは1対2で敗退しましたが、1・2年生のみのチームで3年生のチームと精一杯対戦していました。

ソフトテニスでは山内中央公園テニスコートで行われ、団体戦は5校によるリーグ戦で全勝優勝しました。個人戦は、釘抜晴生・坂本瑞希ペアが優勝、一ノ瀬暖大・富永悠友ペアが5位に入賞し、7月24日（団体戦）、25日（個人戦）に嬉野総合運動公園みゆきテニスコートで行われる県大会に出場します。



7月20日（土）・21日（日）に陸上競技大会は鹿島市陸上競技場で、水泳競技大会はSAGAサンライズパーク屋内水泳場で開催されます。

県大会での活躍を期待しています。応援をよろしくお願いします。

2 全校集会で今までの振り返りと夏季休業中の心構えを話しました

1年生は入学式から「67日」、2・3年生は進級してから「68日」が過ぎ去ったこの期間での成長を振り返る機会を設けました。人は、日常の小さく確かな成長には気付にくいものですが、その積み上げで大きく成長していること意識して、夏休みを充実させてほしいとの願いで話しました。今までの4か月間を振り返ると、

- ① 体育大会のテーマ「猪突猛進」の基、上級生がリーダーシップを発揮し下級生が真剣に取り組んだことと、全校生徒が一致団結して練習から当日まで一生懸命に頑張ったので、川登中学校に素晴らしい伝統を築くことができた！こと。
- ② 生徒会での「授業に集中、けじめのある学校」の実現に向けた取組、総務委員会での「生徒会あいことばによるけじめある学校生活」、生活委員会の「時間の意識、落ち着いた授業態度」、文化委員会の「学習に集中」、保体委員会の「健康、元気な生活」に向けた取組、生徒

会スローガン「One Step Forward一みんなが楽しいと思う学校」に向けた各委員会・各学級での取組が、川登中学校での生活で大きく成長することにつながっており、素晴らしい伝統を築いていること。

③ 日々の学校生活も「毎時間の授業に主体的な態度で臨む学習」「生徒会の日常活動での一生懸命な活動」などは、毎日の積み重ねによって充実しており、一見何気ない日々の地道な努力の積み重ねが大きな成果となっていること。

④ あいさつも大きな声で、自ら進んで、笑顔で言える生徒が増えたこと。今後は、地域の方々から「元気良く挨拶できる生徒が増えた！」と称賛してもらえるように更に高まってほしい！と期待していること。夏休みをその機会にしてほしいと願っていること。

などの成長と期待感を話しました。

一日の成長は小さなものなので成長した実感は抱きにくいものです。しかし、意識的に振り返ることによってその成長を客観的に自覚できることにつながります。それが「**自信**」となり、その後の意欲につながります。今後は、「自分自身の成長・素晴らしさを、自分自身で客観的に見抜ける力」を身に付けてほしいと願っています。

夏休みは 37 日間あるので、入学・進級してから本日までの登校日数の 5 割強になります。この長期休業をいかに充実させるかは、今までの成長を更に伸ばしたり 9 月以降の成長につなげたりできるかにも大きく関わってきます。そのためには次のことが重要です。

① 「一学期に頑張って」身に付けた成長を更に高める。また、「不得意」としたことに自ら取り組んで得意とする。そのためには、夏休み中の学習と生活の計画をしっかりと実行できる強い意思を持つことが必要です。【**自律心**】

② 「与えられた夏休みの宿題」をできるだけ早く終わらせ、「自分で選んだり友達と共に買ったり」した問題集に取り組む。このように、進んで勉強する楽しさや充実感を味わう機会にすることで、秘めた可能性を引き出すことになる。【**自主性**】

③ 「興味関心」を深めるために打ち込んだり研究したりする時間を設けることで得意分野を更に伸ばす。そして「今年の夏休みは今まで以上に充実していました。」「特に頑張ったことはこれです。」と胸を張って言えるように、時間を大切に使いましょう。【**自立心**】

※ 今年の夏休みは「今」しかありません。

※ 学校通信は川登中学校HPにおいてカラーで見ることができます

川登中学校HP・・・<http://cms.saga-ed.jp/hp/kawanobori-j/home/homeMain.do>